

メッセージ引継ぎ項目一覧 基本形 Ver 1.3

Ⅲ. メッセージ項目の解説 1. メッセージ項目およびコードリスト一覧 (1)メッセージ引継項目一覧

◎:必須、○:任意、●:選択必須

メッセージ項目番号	分類	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	発注	出荷	出荷梱包(紐付けあり)	出荷梱包(紐付けなし)	受領	受領訂正	返品	請求	支払	項目の意味	コードリスト	商材*3	現行入力しているデータ項目*2
1	データ整合性	送信者ID	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2		送信者ID発行元	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	送信者の種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する			
3		受信者ID	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4		受信者ID発行元	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	受信者の種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する。			
5		バージョン	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6		インスタンスID	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7		メッセージ種	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8		作成日時	必須	日時	dateTime		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	メッセージ全体の作成日・時間			
9		テスト区分ID	任意	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	○	テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。			
10		最終送信先ID	任意	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	○	最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。			
11		メッセージ識別ID	必須	文字	string		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に” MSG-” を足したものを入力する。			
12		送信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13		最終受信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14		直接受信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15		取引数	任意	数字	Numeric	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ビジネスメッセージにある取引件数。			
21	登場人物：小売	支払法人コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。			法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
22		支払法人GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「○」固定。			
23		発注者コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。			社コード、法人コード、チェーンストアコード
24		発注者GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「○」固定。			
25		発注者名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
26		発注者名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			社名称、法人名称、加盟企業名称
27		直接納品先コード	任意	数字	Identifier	MAX13	●	●	●	●	●	○	◎			卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			物流センターコード、店舗コード、
28		直接納品先GLN	任意	数字	Identifier	MAX13	●	●	●	●	●	○	◎			卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「○」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
29		直接納品先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○			27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
30		直接納品先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○			27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			物流センター名称、店舗名称
31		最終納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。			物流センターコード、店舗コード
32		最終納品先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「○」固定			
33		最終納品先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○			31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
34		最終納品先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○			31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			物流センター名称、店舗名称
35		計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。			物流センタコード、店舗コード
36		計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「○」固定			
37		計上部署名称（カナ）	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○			○	○	○	○	○	35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。			物流センター名称、店舗名称
38		陳列場所コード	任意	英数	Identifier	MAX13	●	●	●	●	●					売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。			納品カテゴリー、カテゴリーコード
39		陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○					38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
40		陳列場所名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○					38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
51	登場人物：卸／メーカー<請求支払関連>	請求取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。			取引先コード
52		請求取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「○」固定			
53		請求取引先名	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
54		請求取引先名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			取引先名称
55		取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。			取引先コード、メーカーコード
56		取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「○」固定			
57		取引先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
58		取引先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			取引先名称
59	<ブレイク集計調整関連>	枝番	任意	英数	Identifier	MAX2	○	○	○	○	○	○	○			一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
60		出荷先コード	任意	英数	Identifier	MAX4	○	○	○	○	○	○				55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			出荷先コード、フロアー
61		発行区分	任意	数字	Code	MAX2								○	○	商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の括り（例：事業所別、地区別など）に合わせて請求支払いをする場合に任意で使用する。請求データにセットされた値がそのまま支払い案内データに引き継がれる。			発行区分、伝票区分
62		連番	任意	数字	Numeric	5								○	○	商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支払い案内データに引き継がれる。			連番、レコード連番
63	<物流関連>	出荷場所GLN	任意	数字	Identifier	MAX13	●	●	●	●	●					取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品番書をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
64		入荷管理用メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		○			○					預りDCで使用するメーカーのプライベートコード			
65		指定納品時刻	任意	数字	Time	6	○	○	○	○	○					小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。			納品時刻
66		バーコード情報	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○					物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めのうえで利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類（大）、商品分類（中）、商品分類（小）
67		カテゴリー名称1（印字用）	任意	文字	Text	MAX5	○	○	○	○	○					物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。			商品分類（大）名称、商品分類（中）名称
68		カテゴリー名称2（印字用）	任意	文字	Text	MAX5	○	○	○	○	○					物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。			商品分類（大）名称、商品分類（中）名称
69		最終納品先略称（印字用）	任意	文字	Text	MAX5	○	○	○	○	○					物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。			最終納品先名称

*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。
*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。
*3:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

メッセージ引継ぎ項目一覧 基本形 Ver 1.3

Ⅲ. メッセージ項目の解説 1. メッセージ項目およびコードリスト一覧 (1)メッセージ引継ぎ項目一覧

◎:必須、○:任意、●:選択必須

メッセージ 項目番号	分類	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型 *1	桁数	発注	出荷	出荷 梱包 (紐付けあり)	出荷 梱包 (紐付けなし)	受領	受領 訂正	返品	請求	支払	項目の意味	コード リスト	商 材 *3	現行入力しているデータ項目 *2
71	商品関連	メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○	○			JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（レポート管理等）に使用。			メーカーコード（3桁の独自コード）
72		商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定			JANコード、頭0+JANコード（14桁）
73		商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
74		商品コード（取引先）	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX14	○	○	○	○	○	○	○			卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。			受注者商品コード、取引先品番、品番
75		商品コード区分	必須	数字	Code	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○		
76		ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16		◎	◎	◎						集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
77		商品名	任意	文字	Text	MAX25	○	○			○	○	○			73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成等に使用する。			
78		商品名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	○	○			○	○	○			73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			商品名称
79		規格	任意	文字	Text	MAX25	○	○			○	○	○			商品の規格（内容量、重量等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
80		規格カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	○	○			○	○	○			商品の規格（内容量、重量等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			商品名称
81		カラーコード	任意	英数	Identifier	MAX10	●	●			●	●	●			商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			カラーコード
82		サイズコード	任意	英数	Identifier	MAX10	●	●			●	●	●			商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			サイズコード
83		カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○			○	○	○			81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
84		カラー名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○			○	○	○			81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			カラー名称
85		サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	○	○			○	○	○			82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
86		サイズ名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30	○	○			○	○	○			82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			サイズ名称
87		商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			DPTNo、群番、グループコード、部門
88		商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
89		商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○	○			小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			品揃え分類No、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
90		商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○	○			小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
301		商品コード（出荷元）	任意	数字	Identifier	MAX14		○			○	○	○			ソースマーキングされた生産者コード		生鮮	
302		都道府県コード	任意	数字	Code	3	○	○			○	○	○			産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。	○	生鮮	
303		国コード	任意	数字	Code	3	○	○			○	○	○			産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。	○	生鮮	
304		産地名	任意	文字	Text	MAX20	○	○			○	○	○			産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。		生鮮	
305		水域コード	任意	英数	Identifier	2	○	○			○	○	○			漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。	○	生鮮	
306		水域名	任意	文字	Text	MAX20	○	○			○	○	○			漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。		生鮮	
307		原産エリア	任意	文字	Text	MAX30	○	○			○	○	○			国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、銚子港など）を表す。		生鮮	
308		等級	任意	文字	Text	MAX8	○	○			○	○	○			商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）		生鮮	
309		階級	任意	文字	Text	MAX8	○	○			○	○	○			商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）		生鮮	
310		銘柄	任意	文字	Text	MAX30	○	○			○	○	○			産地銘柄を表す		生鮮	
311		商品P/R	任意	文字	Text	MAX30	○	○			○	○	○			朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品P/R、商品特性、おすすめ情報を表す。		生鮮	
312		バイオ区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			商品栽培時のバイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）	○	生鮮	
313		単価登録単位	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。	○	生鮮	
314		商品重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX8	○	○			○	○	○			商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。		生鮮	
315		入数	任意	数字	Quantity	MAX4	○	○			○	○	○			出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。		生鮮	
316		品種コード	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			商品の品種を表すコード。	○	生鮮	種別コード
317		養殖区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			養殖／天然を表す区分。	○	生鮮	
318		解凍区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。	○	生鮮	
319		商品状態区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			商品の保存状態を表す区分。	○	生鮮	
320		形状・部位	任意	文字	Text	5	○	○			○	○	○			商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。		生鮮	
321		用途	任意	文字	Text	MAX20	○	○			○	○	○			生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。		生鮮	
101	日付関連	発注日	必須	数字	Date	8	◎	◎	◎	◎	◎					小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）			発注日
102		直接納品先納品日	任意	数字	Date	8	○	○	○	○	○					27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。			センター納品日、店着荷指定日
103		最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	◎	◎	◎	◎	◎					31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。			店納品指定日、納入日、納品日
104		訂正後直接納品先納品日	任意	数字	Date	8		○	○	○	○					卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
105		訂正後最終納品先納品日	任意	数字	Date	8					○					卸／メーカー側が、出荷データ上で27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正した場合、その訂正に伴って発生する31「最終納品先コード」32「最終納品先GLN」への納品日訂正を小売側が受領データ上でセット。			
106		計上日	必須	数字	Date	8	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。			納入日、計上日、店着荷指定日
107		販促開始日	任意	数字	Date	8	○	○	○	○	○					小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。			売出開始日、売出日
108		販促終了日	任意	数字	Date	8	○	○			○					小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。			
109		配達予定日	任意	数字	Date	8	○	○			○					配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。			配達予定日
110		取引（発注・返品）データ有効日	任意	数字	Date	8	○									この取引（発注・返品）の有効年月日。この日までに卸／メーカー側から出荷がされ、小売側に納品がない場合は発注自体を無効となる。			
111		納品期限	任意	英数	Text	MAX8	○	○			○					31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。			納品期限、入荷期限
112		賞味期限日	任意	数字	Date	8		○	○	○						商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。			
113		製造日	任意	数字	Date	8		○	○	○						商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。			
114		対象期間開始	任意	数字	Date	8								○	○	請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。			買掛締期間（開始日）、対象期間・自
115		対象期間終了	必須	数字	Date	8								◎	◎	請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。 締め日。			買掛締期間（終了日）、対象期間・至
116		支払日	任意	数字	Date	8									○	小売側が請求先（卸／メーカー）に支払い（振込）をする日付。			支払年月日
117		照合基準日	任意	数字	Date	8								○		卸・メーカー側で、小売企業から受け取った返品データと、返品対象となった商品を照合するためのキーとなる日付け情報。照合する日付けの意味は、次の「照合基準日区分」のコードリストの中から相対間で選択し、決定する。			
118		照合基準日区分	任意（条件付）	数字	Code	2								○		返品の写真作業を、店舗あるいはセンターで行うか、どのようなイベント（仕分の処理、出荷、引取）で行うかによって、「照合基準日」を識別するための区分。			

*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご確認ください。
*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。
*3:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅲ. メッセージ項目の解説 1. メッセージ項目およびコードリスト一覧 (1)メッセージ引継ぎ項目一覧

◎:必須、○:任意、●:選択必須

メッセージ 項目番号	分類	項目名	必須／任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	発注	出荷	出荷 梱包 (紐付 けあり)	出荷 梱包 (紐付 けなし)	受領	受領 訂正	返品	請求	支払	項目の意味	コー ドリス ト	商 材*3	現行入力しているデータ項目 *2
121	番号	取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品。の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号＋C/D
122		取引付属番号	任意	数字	Identifier	MAX10	○	○			○	○	○				取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）		外注No、客注No、伝票行番号、配達伝票番号
123		取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
124		取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	○	○			○	○	○				122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号		外注No、客注No、（一括伝票に対する行内のオカレンス番号）
125		センター納品書番号	任意	数字	Identifier	MAX10		○	○	○	○						卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送品書No
126		製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16		○	○	○							製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
127		請求書番号	任意	数字	Identifier	10								○	○		請求者（卸／メーカー）が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。		請求書番号
322		元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10		○			○	○	○				取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号	生鮮	
323		元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		○			○	○	○				取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号	生鮮	
324		出荷者管理番号	任意	英数	Identifier	MAX10		○			○	○	○				発注に対し、出荷者側で管理する番号	生鮮	
325		出荷者管理明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		○			○	○	○				発注に対し、出荷者側で管理する番号の明細番号	生鮮	
131	金額	原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
132		原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	◎	◎			◎	◎	◎				1 取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量（バラ）」）。小数以下のまめめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額
133		原価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			◎	◎	◎				1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額
134		売単価	任意	数字	Amount	MAX10	○	○	●	●	○	○	○				1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。		売価単価、売単価
135		売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○	○				1 取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量（バラ）」）。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。		売価金額
136		売価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○	○				1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ		
137		税額	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○	○				1 取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等
138		税額合計金額	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○	○	○	○		1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
139		請求金額符号	必須	文字	Code	1								◎	◎		請求金額の正負。（例：仕入は＋、返品、値引は－）		
140		支払金額符号	必須	文字	Code	1								◎	◎		支払金額の正負。（例：仕入は＋、相殺、返品、値引は－）		
141		請求金額	必須	数字	Amount	MAX11								◎	◎		請求者（卸／メーカー）が小売に対して行う、1 取引番号あたりの商品代金請求金額。		請求金額
142		支払金額	必須	数字	Amount	MAX11									◎		小売が請求者（卸／メーカー）に対して支払う、1 取引番号あたりの商品代金。		金額、金額合計、消費税額計、支払金額、原価（符号付き）
143		金額符号（小売自由使用）	任意	文字	Code	1										●	「金額」（小売自由使用）の正負		
144		金額（小売自由使用）	任意	数字	Amount	MAX11									○		請求照合の結果、卸／メーカーへの支払い額以外に開示する項目（小売計上額、請求残、次回繰越額等）の金額をセット。		アンマッチ異掛計上金額
151	数量	発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7	◎	◎	◎	◎	◎						1 取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
152		発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	◎	◎	◎	◎	◎						発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
153		発注数量（発注単位数）	必須	数字	Quantity	MAX6	◎	◎	○	○	◎						発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量（発注単位数）」＝151「発注数量（バラ）」		発注ケース数、発注単位数
154		発注単位コード	必須	数字	Code	2	◎	◎	◎	◎	◎						発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
155		発注荷姿コード	任意	数字	Code	2	○	○			○						納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる）この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	○	
156		出荷荷姿コード	必須	数字	Code	2		◎									実際の出荷荷姿。卸・メーカーがセット	○	
157		数量合計	任意	数字	Quantity	MAX6	○	○			◎	○	○				1 取引番号（発注）単位の151「発注数量（バラ）」or159「出荷数量（バラ）」or162「受領数量（バラ）」の合計。		
158		発注単位数量合計	任意	数字	Quantity	MAX6	○	○			○						1 取引番号（発注）単位の153「発注数量（発注単位数）」or160「出荷数量（発注単位数）」or163「受領数量（発注単位数）」の合計。		合計ケース数（一括伝票）
159		出荷数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7		◎	◎	◎	◎						1 取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
160		出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6		○	○	○	○						1 取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
161		出荷数量（出荷荷姿数）	必須	数字	Quantity	MAX6		◎									1 取引明細（発注）単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
162		受領数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7					◎						1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。（卸／メーカー側がセットした159「出荷数量（バラ）」との差異の有無にかかわらずセット）		受領数量
163		受領数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6					○						1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。（卸／メーカー側がセットしたの160「出荷数量（発注単位数）」との差異の有無にかかわらずセット）		
164		返品数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7							◎				1 返品明細での73「商品コード（発注用）」の返品バラ数。		
165		欠品数量（バラ数）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7		◎	◎	◎							1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		欠品数量
166		欠品数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6		○	○	○							1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		
167		訂正数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7						◎					1 受領明細での73「商品コード（発注用）」の訂正バラ数（差分）。		
326	重量	発注重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10	○	○			○						不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。	生鮮	
327		取引単位重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10	○	○			○						卸売市場等で取引される単位重量（5Kg、10kgなど）	生鮮	
328		出荷重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10		○			○						不定貴商品の場合に使用する。出荷時の確定重量。	生鮮	
329		受領重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10					○						不定貴商品の場合に使用する。受領時の確定重量。	生鮮	
330		返品重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10							○				不定貴商品の場合に使用する。返品時の確定重量。	生鮮	
331		重量合計	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX13	○	○			○	○	○				不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。	生鮮	
332		訂正重量	任意	数字（小数点以下3桁）	Measure	MAX10						○					不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。	生鮮	
171	各種区分	（発注）商品区分	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○	○	○				定番（プロバー）発注or特売（中目玉）発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
172		発注区分	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○						発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
173		出荷データ有無区分	任意	数字	Code	2	○	○			○						小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	○	EDI区分
174		EOS区分	任意	数字	Code	2		○	○	○	○						小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
175		（物流）納品経路	任意	数字	Code	2	○	○			○						小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	○	納品区分、納入センター区分、ストック区分
176		便No	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○						小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○	便、便情報、便コード
177		通過在庫区分	任意	数字	Code	2	○	○			○						卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	○	在庫区分、通過在庫区分
178		納品区分	任意	数字	Code	2	○	○			○						卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	○	センター納品方法、単品総量区分
179		センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2	○	○			○						納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	○	
180		商品移動区分	必須	数字	Code	2							◎				返品において、該当の商品が返却されるか、返却がされないかを表す。（返却されない・・・汚破損等により商品を小売が廃棄処分する場合等）	○	商品移動
181		（商品）PB区分	任意	数字	Code	2	○	○			○						当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	○	
182		配送温度区分	任意	数字	Code	2	○	○			○						温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	○	

*1:XMLデータ型に關するセツト方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項を御覧ください。

*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセツトされるか、参考のために付けています。

*3:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

メッセージ引継ぎ項目一覧 基本形 Ver 1.3

Ⅲ. メッセージ項目の解説 1. メッセージ項目およびコードリスト一覧 (1)メッセージ引継ぎ項目一覧

◎:必須、○:任意、●:選択必須

メッセージ項目番号	分類	項目名	必須／任意	タイプ	XML データ型*1	桁数	発注	出荷	出荷梱包 (紐付けあり)	出荷梱包 (紐付けなし)	受領	受領訂正	返品	請求	支払	項目の意味	コードリスト	商材*3	現行入力しているデータ項目*2
183	(決済)	酒区分	任意	数字	Code	2	○	○			○					当該発注商品が酒であるかどうか判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。	○		
337		法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○	○	○			当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。	○		
184		処理種別	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○	○	○		○	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○		伝票区分
185		配送料免除区分	任意	数字	Code	2						○	○			返品配送料を卸／メーカー（返品先）に負担していただくかどうかを表す。	○		配送料免除区分（返品）
186		伝票レス区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○		伝票有無区分、E D I 区分、在庫センター区分
187		返品・値引理由コード	必須	数字	Code	3						◎	◎			返品、値引きの理由	○		返品理由
188		訂正区分	任意	数字	Code	2					○					小売での検収時に出荷データと実納品との間に差が発生した場合、小売側が受領データにセットする差異理由。	○		
189		請求区分	任意	数字	Code	2								○	○	当月（回）請求、前月（回）繰越請求を区別する区分。	○		請求区分
190		未払買掛区分	任意	数字	Code	2								○	○	請求（支払）データが、小売側にとって買掛（商品代金）計上するの未払い金（商品以外の代金）計上するのを区別する区分。	○		レコード区分、区分
191		照合結果	必須	数字	Code	2									◎	卸／メーカーの請求額と小売側の買掛額を照合した結果を告知する項目。	○		計上区分、マッチ区分、備考コード
192		支払内容	必須	数字	Code	4								◎	◎	支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	○		伝票区分（支払い内容）、請求区分、支払区分
193		支払内容（個別）	必須	数字	Code	4									◎	192「支払内容」の内訳。小売側で独自に管理しているコードをセット。			伝票区分（支払い内容）
194		支払内容（個別名称）	必須	文字	Text	MAX25									◎	193「支払内容（個別）」に対する名称。			
195		支払内容（個別名称カナ）	必須	文字（半角カナ）	Text	MAX25									◎	193「支払内容（個別）」に対する名称（半角カナ）。			
196		支払方法区分	任意	数字	Code	2									○	手形、銀行振込 等	○		
197		欠品区分	任意	数字	Code	2		○	○	○						卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○		欠品理由、欠品区分
198		輸送手段	任意	数字	Code	2		○	○	○						小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。	○		輸送手段
333		取引番号区分	任意	数字	Code	2	○	○			○					取引タイプと発番基準を表す区分。	○	生鮮	
334		不定買区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			定買・不定買を表す区分	○	生鮮	
335		仮伝フラグ	任意	数字	Code	2		○								仮の単価を表す区分。正式単価は後日相手の確認を持って決定される。	○	生鮮	
336		バック区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○			食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。0 1：バック。	○	生鮮	
201	税	税区分	任意	数字	Code	2	●	●			●	●	●	●	●	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○		税区分
202		税率	任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3	○	○			○	○	○	○	○	消費税率を表す。			税率
211	梱包情報	取引先出荷日	必須	数字	Date	8			◎	◎						卸／メーカーが商品を出荷した日。			取引先出荷日、ベンダー出荷年月日
212		出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6			◎	◎						出荷（梱包）単位の出荷数。出荷（梱包）データ内のITFレコードにセットする。			
213		出荷総梱包数	必須	数字	Quantity	MAX6			◎	◎						出荷（梱包）単位の総梱包数。			取引先出荷梱包数、ベンダー出荷総梱包数
214		ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4			○	○						この正梱内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。商品コード（発注用）がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
215		カゴテナNO	任意	数字	Identifier	MAX36			○	○						梱包NOがひもつく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。			
216		親梱包NO	任意	数字	Identifier	MAX36			○	○						1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テーブルセットのテーブルと椅子 のような例			
217		梱包NO	必須	数字	Identifier	MAX36			◎	◎			○			梱包単位に付けられたNo			梱包No.
218		担当者	任意	文字	Text	MAX10			○	○						出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
219		担当者カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX10			○	○						出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）			担当者
220		連絡先(TEL)	任意	英数	Text	MAX12			○	○						218「担当者」の電話番号。			連絡先（TEL）
221		連絡先(FAX)	任意	英数	Text	MAX12			○	○						218「担当者」のFAX番号。			連絡先（FAX）
231	コメント	自由使用欄	任意	文字	Text	MAX60	○	○			○	○	○			伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			伝票の自由使用欄（発注）
232		自由使用欄半角カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60	○	○			○	○	○			伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			伝票の自由使用欄（発注）、承認No(受領伝票)
233		ラベル自由使用欄（印字用）	任意	文字	Text	MAX60	○	○	○	○	○					物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			部門（売場）名称、発注区分名称、配送温度名称
234		ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60	○	○	○	○	○					物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			梱口数、ラベル発行日、部門（売場）コード、商品コード（発注先）、商品コード（取引先）、商品名、商品分類コード（小）、直接納品日、売出し、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便No、出荷日、取引先連絡先（TEL）

*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。
*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。
*3:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。